

オーストラリア・ポスト 生誕200周年

2009年の6月26日、オーストラリア・ポストは生誕200周年を迎えました。オーストラリア・ポストは、建国以前から今日まで、オーストラリア社会の重要な役割を果たし、さまざまな歴史を辿ってきました。



200年の歴史

1809	4月25日、イギリスからの郵便物の管理担当者にIsaac Nichols氏が任命され、6月26日に最初の郵便物を引き受ける。
1825	ニュー・サウス・ウェールズ (NSW) 州の州議会が、オーストラリアで最初の郵便に関する法令を定める。
1828	定期的な郵便の配達が生ドニーで始まる。
1831	生ドニーのストリートに郵便受けが取り付けられ始める。小さい木製の箱で、建物に直接付けられたと言われている。
1838	メルボルンと生ドニー間の郵送サービスが始められる。世界で初めて、郵送料の前払いの方法に切手を実践的に使用される。
1850	粘着性のある切手の流通がビクトリア (VIC) 州とNSW州で始まる。
1854	大陸で最初の電信が、VIC州のメルボルンとウィリアムストーン間(約10km)で送られる。これにより、電信サービスは郵便サービスの一部となる。
1856	イギリスへ、月1回の定期船の出航が始まる。これはイギリスとオーストラリアを平均55日間で繋いだ。
1857	VIC州の郵便局でマネーオーダーの販売が始まる。
1875	最初のオーストラリア産ポストカードの販売が、生ドニーの中央郵便局 (GPO) で始まる。
1883	生ドニーとメルボルン間で、列車による郵便物の輸送が始まる。
1901	オーストラリアが建国し、国内の郵便サービス全てを管轄するPostmaster General's Department (PMG) が誕生する。

1911	一般サイズの手紙の郵送料が国内で統一される。
1914	メルボルンと生ドニー間で、国内の航空便が初めて導入される。飛行機は7箇所の給油地点を経て、約2日間で到着した。
1921	西オーストラリア州のジェラルトンとダービー間で、国内初の定期航空便の運航が始まる。
1934	オーストラリアとイギリス間で定期航空便の運航が始まる。それまでの32日間の航海よりはるかに短い、13日間で両国を繋いだ。
1954	南極のモーソン基地に郵便局を設置する。
1957	世界で初めて、クリスマス切手の毎シーズンの発行・販売が始まる。
1959	国内航空便の追加料金を廃止する。
1967	4桁のポストコードが国内全ての地域に振り当てられる。
1969	郵便物の配達が生ドニーに1度から毎日に変更される。
1975	連邦政府が郵便・電話サービスの管轄を分け、オーストラリア・ポストとTelecom (現在のTelstra) が生まれる。
1983	パスポート申請の受付サービスを開始する。
1991	都市部でExpress Post (速達郵便) のサービスを開始する。
1999	バーコードによる郵便物の宛先の区別が始まる。
2009	生誕200周年を迎える。

1959年、生誕150周年となったその年に発行された、Isaac Nichols氏が描かれた記念切手。

